

おりーぶ通信

過ぎました。(吉田 富美子)

住職がお年寄りに法話

高松

香川町の社会福祉センターで同市番町の徳成寺住職・大山健児さんが法話をしました。同センターではお年寄りが室内で手芸などをしてしていますが、人のお話を聞くという交流がありませんでした。一度、みんなに身近なお話を聞かせてあげたいと同センターが徳成寺住職さんをお願いしました。

大広間で開かれた法話には約35人の高齢者が参加しました。

大山住職が、笑顔で開口一番、讃岐の方言で自己紹介されると、会場の堅苦しい雰囲気が急に明るくなりました。

親しみのある方言で話され、住職さんの質問にもお年寄りたちは、大きい声で答え、仏事、余生、家族とのきずななどを熱心に語りかけていました。

住職さんは、笑いながらお年寄りたちに、常識知らぬは恥と、死後の49日の追善供養の法要などの話などをお年寄りに分かりやすくお話ししました。

(多田 義子)

印から花が咲
に順次つぼみ
ら数え切れな

綾川町山田下の川崎あ
けみさんの庭に珍しい皇

(綾川町)



昭子
(虫本)



を言葉に苦労し
ました。見事な
お母さんや子ど
ンドチャイを仕
(大山 信子)

など学ぶ

舌改善推進協議
部は、7回の「在
ア講習会」を開
人が受講しまし

生の職員や管理
食についての
などの調理実
で介護食に良
み食やペース
勉強になりま

「病」身体の
は、山地外科